

今年もよろしくお願ひいたします(#^^#)

～令和4年度 思い出～



そしあるアドレス

そしある固定電話:0985-77-8817

そしあるFAX:0985-77-8818

そしある携帯①:080-5245-5677

そしあるPCアドレス: sosiaru@miyazaki-catv.ne.jp

そしある携帯アドレス: sosiaru80-78@softobank.ne.jp

そしあるHP

<http://npo-social.com>

どしどしアクセスしてください。

ご相談のある方は、

いつでもご連絡下さい。

虐待報道からそしあるの考え

昨年、北海道の障害者支援施設で利用者さんを全裸のまま放置していたと報道がありました。また、静岡県の保育園では一歳児に対しての虐待認定。なぜ、このような事が起きるのか……。

志を持って福祉の世界へ来られたか方もいれば、たまたま福祉の世界へ来られた方と様々です。志を持っているか否かではなく、虐待事案は働く環境がどうなのか……だと私は思います。一般的な会社であれば、その会社の方針、経営者と合わなければ、退社することは当たり前のことですが、その会社がどんな考えでどんな事を行っているのかがとても重要だと思います。

例えば、攻撃的な行動を起こす利用者さんに対して事業所の考え方として、①暴力を起こすのであれば精神科を受診し、お薬の処方をしてもらって下さい。②そもそもなぜそのような行動をとったのか、原因を探り、改めて支援を検討していきます。

暴力は当然いけない行動です。しかし、言葉で上手に伝えられる人であれば、状況は変わっていたのではないのでしょうか？見えている行動の背景を考えて支援しなければ間違った判断となり、利用者さんの混乱を助長させてしまいます。虐待が起きている事業所では我々からすれば困った行動に対して、その行動の背景を考えるような研修を定期的に行っているのでしょうか？もし、その行動の要因を考える訓練（研修）をしていれば、利用者さんが起こした行動に対して、「自分達の責任」という認識が変わり、考えて行動できる職員が育ち虐待の芽は出にくい環境へと変わると思います。

そしあるでは、虐待を起こさせない為に、利用者さんの行動、言動の変化が見受けられた場合、職員からの報告に対して「なんで？」と私は原因を確認します。これが、日常のやり取りになりますが、職員も私からその質問が来る事が分っている為、徐々に「自分達のスケジュールの配慮が足りず……起こさせてしまった」との報告へ変わります。もし、職員が激しい攻撃を受けたとしても、「配慮しなかった職員の責任」となるのがそしあるの考えとなり、大変な職場だと思われる方も多々と思います。しかし、重度の障害者の方々の生活を守るためには、働く職員の脳（思考）を変えさせていく作業がいかに重要である事に繋がります。顔を叩かれたり、頭を叩かれたり、唾を吐かれたり様々な行動が起こりますが、その行動の意味を考える訓練を常に行います。しかし、働く職員にゆとりが無ければその行為に耐え切れない職員が出てくる事も事実です。

様々な行動を起こす利用者さんに対して、働く職員には多くの事を要求します。様々な行動を冷静に受け止めるようになる為に、私が特に職員に求めている事は「自分のプライベートを充実させる事」です。自分に余裕が無ければ他人の幸せを本気で考えて行動できる人は少ないと思っています。利用者さんの様々な行動を受け止められるようになる為に、職員の給与、休暇、職場の雰囲気を実践させる事によって余裕、ゆとりが生まれるような環境づくりを心掛けています。もし、私が職員に対して何も関心が無く、目配り、気配り、心配りが出来ない会社の代表であるとすれば、職員は利用者さんに対して、障害とは分かっている日常的に受ける攻撃的な行動に対して、私の考えを基にした支援はいつまでも浸透しないと思っています。自分の家族のように職員の事を考える事が虐待防止に繋がると信じています。

私なりの結論としては、「管理者が働く職員のメンテナンスをしっかりと考えて行動する事」から「現場職員が利用者さんのメンテナンスをしっかりと考えて行動する事」に繋がります。虐待を起こさせない管理体制が構築されると思います。働く職員の生活を真剣に考えて行動する事が、障害者の生活を一緒に考えて行動できる職員の育成に繋がると私は信じています。

理事長 安藤学

153号

そしあるぽすと

発行所：特定非営利活動法人
佐土原町上田島字山倉4477-1
サポートセンター